

ゲスト (パネリスト)

※敬称省略

GUEST(PANELIST)



【プロデューサー】

■城下 孝 (しろした たかし)

1954年夕張市生まれ。炭鉱が勢いのあった時代、町の映画館から人がはみ出て歓声を上げている情景や歌謡曲の実演などを観て育つ。1993年、TVhテレビ北海道で新作映画紹介をスタジオドラマとの合体で紹介する『今夜もまるやま4丁目』を制作・演出。1997年、交渉から実現まで三年を費やし、塩谷、札幌などで撮影され、テレビ東京系で放送された『高倉健・冬の旅』(出演:高倉健 聞き手:檀ふみ ゲスト:降旗康男、倍賞千恵子、小林稔侍)の局側のプロデューサーを担当。この作品は高倉氏としては珍しい長尺トーク番組として当時話題となった。ちなみにロケの3日間は1日1キロずつ痩せ、それを“健さんダイエット”と自ら呼んでいた。その過酷な現場で執筆家の谷充代氏に声をかけられ、折れそうな心を救われ、お知り合いとなる。1998年STV札幌テレビ放送に移籍。地元制作番組のディレクター/リポーターやプロデューサー業務に従事。2008年、札幌芸術の森美術館で開催された「トトロの森を描いた人・男鹿和雄展」を担当。当時の最高入場者数を樹立した。2013年、海外映像制作チームの誘致を目的に発足した「札幌特区通訳案内士」の第一期認定者。現在はテレビやイベントの一線を離れ、STV旭川放送局長として旭川市在住。仕事以外の時間は無論映画を鑑賞し、趣味の料理を作り、ジャズシンガーとして活動している。『高倉健・冬の旅』撮影のお礼状とともに高倉氏にお送りした南米産のコーヒーが飲んでみると意に反して今一つの味であった。しかし、ご本人から「けっこうなものを頂戴し〜」とお礼状を戴いたことを今もって悔やんでいる。



【プロデューサー】

■福井 真奈 (ふくい まな)

1969年北海道出身。浜田省吾の事務所「ロードアンドスカイ」から「円谷プロダクション」へと移り映像制作を始める。現在ワンダーヘッドのプロデューサー。井口昇監督作品を中心に、TV・映画のプロデューサーと務める。代表作に『デッド寿司』『ヌイグルマーZ』『ライブ』『ラブレター』。TVドラマ『でんぱコネクション フレンチ』『監獄学園』『実在性ミリアンアーサー』などを手掛ける。



【プロデューサー】

■高根 順次 (たかね じゅんじ)

秋田県出身。音楽チャンネル スペースシャワーTV勤務。プロデュース作品は「フラッシュバックメモリーズ3D(2012)」(松江哲明監督)、「劇場版/完全版BiSキャンボール2014(2014)」(カンパニー-松尾監督)。今作「私たちのハアハア(2015)」は初めての劇映画プロデュース作。



【執筆者】

■谷 充代 (たに みちよ)

1953(昭和28)年、東京都生まれ。執筆家。フリー編集者時代、白洲正子、三浦綾子などのルポルタージュを手がける傍ら、1980年代半ばから2010年代、高倉健を巡って、映画、テレビドラマ、コマーシャル製作の現場(国内外)へ同行取材、様々なアプローチを重ねてきた。1995年、出版界では最初で最後となった海外取材(イタリア、トスカーナ)をプロデュースし取材も担当。また、高倉健がパーソナリティーを務めたラジオ番組『旅の途中で』(ニッポン放送 1996~2000年)に企画。当番組をもとにした『旅の途中で』(新潮社、高倉健著)の出版プロデュースを担当。一週間に及ぶ異例の編集作業を目的とした伊豆合宿を組んだ。こうした親交30年の記録を『「高倉健」という生き方』(新潮社)にまとめ2015年に上梓。『健さん片想いの会』幹事代表。



【女優・映画監督】

■森田 亜紀 (もりた あき)

石川県出身。バレエが特技。映画「へんげ」(モントリオールファンタジア映画祭AQCC(ケベック批評家協会)特別賞受賞)、「メイクルーム」など数多くの映画にて主演を務める。近年では自身で監督も務めており、長編初監督作品となる「けんじ君の春」が第三回新人監督映画祭コンペティション部門長編にて入選を果たした。



【女優】

■森 恵美 (もり えみ)

福島県出身。子供の頃から日舞や器械体操などに触れ、その後、桐朋学園短期大学に入学。後に、劇団青年座にて本格的に新劇を学ぶ。映像の仕事を中心に活動した後、一度結婚を機に引退するも、3年前に復帰。現在はお母さん役から おばあちゃん役まで幅広くこなしている。今年初プロデュースをおこなう。主な出演作品は、映画『あさひるばん』やまさき十三監督:看護師 森紀美子役、映画『サーチン・フォー・マイ・フューチャー』松本卓也監督:林役、NHK『恋する百人一首』菅浦役、NHK『喰う寝るふたり 住むふたり』三枝役、NTV『秘密のケンミンショー』梅沢富美男さんの奥さん役、PV『レインボーロード』絢香:花嫁の母親役ほか。



【女優】

■荒川 実里 (あらかわ みり)

出身地/東京 誕生日/11月23日 星座/射手座 身長/155cm
好きなもの/アイスクリーム、80年代アイドル 特技/クラシックバレエ (18年) 英語・中国語
女優アイドル「ノーマイクス」のセンター。女優としての出演作:映画「ふたり」主演(田丸さくら監督)
<自己紹介> 醤油かと思ったらソースかけちゃった!プレーキとアクセル認識不能!宇宙のドジっ子、みのりんこと荒川実里です!



■柳 杏奈 (やなぎ あんな)

出身地/千葉県 誕生日/1月10日 星座/山羊座 身長/171cm
好きなもの/米 特技/ケーブル8の字巻き
女優アイドル「ノーマイクス」身長171cmの最年少。女優としての出演作:映画「TOO TOUNG TO DIE!若くして死ぬ」(宮藤官九郎監督)
<自己紹介> 大きなタッパに子リスの心!山をも動かす!サイズのシンデレラ!ノッポのあむこと柳杏奈です!



【俳優】

■井上 幸太郎 (いのうえ こうたろう)

1974年3月10日生まれ。神奈川県鎌倉市出身、桐朋学園大学中退。I.T.I国際演劇協会会員。1995年初舞台出演。以後、ドキュメンタリータッチの自然な演技で紡ぐ現代口語演劇から身体表現で紡ぐ前衛演劇まで多種にわたる形態の舞台作品に参加。客演先の劇団としては、ポツドール、ポカリン記憶倉、東京タンパリン、THE ガジラ、温泉ドラゴンなど(代表作 ポツドール『夢の城』『愛の渦』THE ガジラ『カストリエレジー』)。2003年には自ら監督として映像作品『BRIDGE』を発表。イギリスの映画祭Japanese film season04に入選、ロンドン上映を果たす。2005年、地元である古都鎌倉にて住宅を改造した画廊 Gallery KAYAをプロデュース。その動きの流れでクリエイティブチームROOT CULTURE発足。3年に及んだ鶴田真由さんとの二人芝居は昨年完結した。今年2月、主演映画「狂犬」がゆうばり国際ファンテスチック2016で上映された。



【俳優】

■澤田 和宏 (さわだ かずひろ)

1986年1月19日生まれ、富山県出身。小学二年生の夏にプラスバンド部に入部し、トランペットを始める。富山県立福野中学校を経て、富山県立福光高等学校へ進学。卒業後、上京。2011年3月、映画「漫才ギャング」の端役でデビュー。近年は、「埼玉家族」(13)「MARCHING-明日へ-」(14)に出演。映画「The Salad Rudies」で映画初主演を果たす。現在、ジャズトランペッター・日野皓正氏に師事。ジャズシンガー・五十嵐はるみ氏のバンド「Blues Angels」のライブにゲスト出演する等、ジャズのフィールドでも活動中。